

第4回坂祝町 学校の将来のあり方 検討委員会



12月19日(火) 15:00~

坂祝町中央公民館

第3回学校の将来のあり方検討委員会

○前回の意見交流では

- ・交流には価値があるので、小中学校は近くにあるといい。教育スタイルは後々考えるとして、まずは連携を図ること。
- ・地域の住民の声も重要だが、これからの保護者の意見も聞く必要がある。コミュニケーションをとって進めてほしい。
- ・義務教育学校に惹かれていたが、小中一貫校のメリットを多く感じた。
- ・濃南小中学校のやり方は、少人数だからできたことかもしれないが、坂祝町でもやれないことはない。
- ・濃南小中学校もはじめからできていたわけではなく、スモールステップで上がっていった。メリットが多いなら一貫校がいい。
- ・校舎は併設、隣接すると良い。

第3回学校の将来のあり方検討委員会

○古賀委員長のまとめ

- ・施設を建てるときには、先まで見通して学校を造らなければならぬ。一貫校や義務教育学校を将来的につなげていける環境・状況を造って建てないと、後には戻れない。まずは併設型が望ましいと思う。
- ・大事なことはそこにプレミアを付ける。プレミアとは、地域の方々とつながりが、今よりさらにしやすくなる環境、連携をさらに密接にできる環境も考えていく必要がある。
- ・形から入るのではなく、子ども・地域を思ってじっくりじっくり段階的に方向性を考えていくことが大事。
- ・場所をどこにするかという問題は、例えばハザード上安全な場所、もう一つは子どもが通う時間や距離。事務局は、通学時間・距離に関するデータを12月の委員会に提示して下さい。
- ・12月は方向性を全員で話し合いたい。

第4回学校の将来のあり方検討委員会

○本日の予定

- ・北方町立南学園視察の振り返り
- ・通学時間・距離に関するデータ
- ・全体による意見交流



○意見交流のポイント（今回は方向性を決定したい）

- ・坂祝町のめざす学校は…

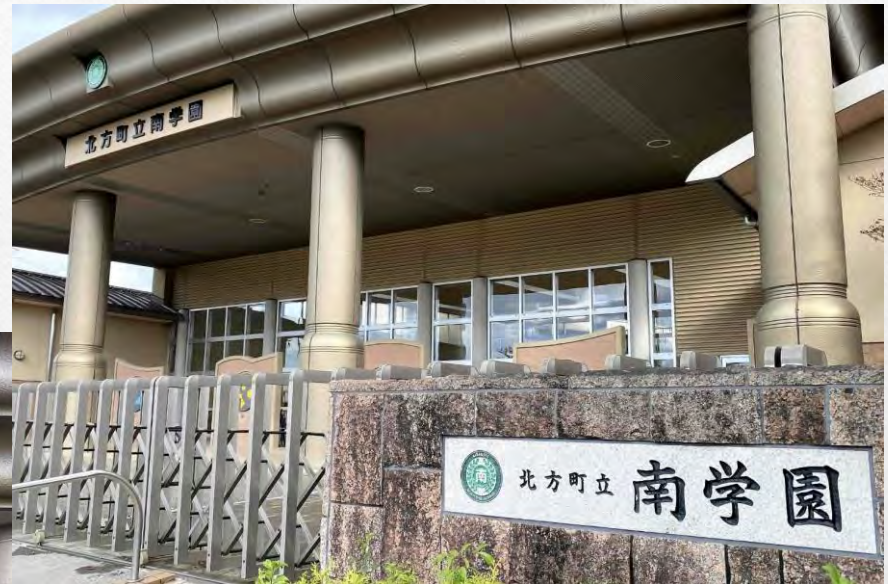
義務教育学校 or 小中一貫校 or

既存の小学校・中学校の枠組みがよいのか

◇ 県内の義務教育学校・小中一貫校

義務教育学校	小中一貫校
<ul style="list-style-type: none"> ◦ 白川村立白川郷学園 校長1・副校長1・教頭2 前期児童数85 後期生徒数29 ◦ 羽島市立桑原学園 校長1・教頭2 前期児童数104 後期生徒数53 ◦ 北方町立南学園 校長1・副校長1・教頭3(一体型) 1部(1～4年)児童生徒数196名 2部(5～7年)児童生徒数171名 3部(8～9年)児童生徒数108名 特別支援前期課程17後期課程9 計 501名 1～6年 302名 7～9年 173名 	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 岐阜市立厚見小・中学校 校長1・副校長1・教頭2(分離型) 小・児童数593 中・生徒数241 ◦ 岐阜市立藍川小・藍川北中学校 校長1・副校長1・教頭3(分離型) 小・児童数152 中・生徒数114 ◦ 岐阜市立芥見東小・藍川東中学校 校長2・教頭2(分離型) 小・児童数229 中・生徒数178 ◦ 土岐市立濃南小・中学校 校長1・副校長1・教頭2(併設型) 小・児童数86 中・生徒数35 ◦ 飛騨市立山之村小・中学校 校長1・教頭1(併設型) 小・児童数10 中・生徒数5

北方町立南学園の視察を終えて



令和5年11月17日(金)
本巢郡北方町高屋分木
2丁目23番地

校内の様子(校舎の様子・広々とした玄関)



校内の様子(増築された中学校特別教室)



校内の様子(リフォームされた図書室・トイレ)



開校・開園に至る経緯

平成29年12月 北方学園構想を発表

○一部小学校の児童数激減・施設の老朽化・空き教室

平成30年4月 学校構想検討委員会（第三者委員会）

○教育力向上・町の魅力・効率化の観点から推進すべき

令和元年6月 北方学園構想基本計画を発表

令和元年8月～令和5年3月 開校準備委員会・専門部会

令和元年度～令和2年度 設計・建築開始

令和3年度～令和4年度 建築・整備

令和5年度4月 開校・開園

開校・開園に至るまでに課題となったこと

【教育内容に関すること】

- 中学校が分かれることに反対
- 部活動の衰退
- マンモス化し目が行き届かなくなるので反対
- 議論が尽くされていない、説明不足
- 9年間同じメンバーでいることが心配
- 6年生の活躍の場が減ることが心配
- 学校行事や日課はどうなるのか
- 開校前後の教職員の多忙化

【施設設備等に関すること】

- 学校を一体化するための廃道による不便さ
- これまでの学校の伝統が途切れることへの寂しさ
- 校章、校歌、制服、鞆等の制定に関すること

北方学園 一貫校の良さを生かした教育

◇安心 子ども理解15年間の見通し

子ども：多くの先生に相談できる

教員：小さい時から知っている

保護者：顔なじみの先生がいる

◇楽しい 一貫カリキュラム

子ども：専門的な授業が受けられる

教員：教材の系統性がよくわかる

◇元気 切れ目のない地域・保護者連携

子ども：地域の人とのつながりが深まる

教員：学校に対する理解が深まる

「園・学校も元気、地域も元気」

開校・開園して、今思うこと

【よかったこと】

- 小学校高学年の教科担任制ができていること
- 中学生にあたる7～9年生の生活ぶりが落ち着いてきたこと
- 多様な異学年交流による活力が生まれていること
- 教職員の視野や意識が広がったこと
- 修繕費(含将来)、維持費、人件費等、学校運営の効率化ができたこと

教科に自信のある先生に教えてもらい、授業が楽しい

6年生

9学年のリーダーだと思つと、手間はかかるけど、充実感は大い。

9年生

中学生が小さい子と登校し、微笑ましい、生き生きしてきた。

地域の方

小中の教職員が一つになったことで、子どもの情報がすぐに得られるようになった

教職員

開校・開園して、今思うこと

【課題に感じていること】

- 両学園の交流、特色づくりに関すること
- 6年生の活躍の場に関すること
- 不登校への効果に関すること

宿泊学習など多くの行事を両学園が一緒に行うのは、準備に手間がかかりすぎる。無理のないように工夫する必要がある。

教職員

6年生のリーダーとしての活躍の場が減ったように感じ、心配だ。

保護者

開校当初は、不登校傾向にあった子どもも意欲的に登校していたが、時間の経過とともに不登校傾向になってきている。

教職員

まだわからないところもありますが、幅いろいろ年生の子ども、さまざまな個性の教職員が一ヶ所に集うことで、活力が生まれていると感じています。

坂祝小学校からの徒歩による距離と時間



中央公民館からの徒歩による距離と時間

仮に



坂祝小学校(中央公民館)からの距離と時間比較

	住所	坂祝小学校から		中央公民館から		通学時間の増減
		距離	時間	距離	時間	
①	酒倉152-1	2.3km	35分	3.1km	47分	+12分
②	酒倉深田3-74	2.3km	34分	2.2km	33分	-1分
③	酒倉1034-3	2.3km	36分	2.0km	30分	-6分
④	大針528	3.2km	48分	2.3km	36分	-12分
⑤	黒岩1514-8	3.8km	59分	1.8km	28分	-31分
⑥	黒岩546	3.7km	57分	1.8km	28分	-29分
⑦	深萱316-4	3.1km	47分	1.5km	23分	-24分
⑧	深萱1179	3.5km	53分	2.8km	42分	-11分
⑨	勝山513-1	2.0km	30分	2.5km	37分	+7分
⑩	勝山138-1	1.6km	24分	3.1km	47分	+23分
	平均	2.78km	42.3分	2.31km	35.1分	-7.2分

他市町村の学校建設状況

【自治体 A】

- 統合する小学校1棟 6学年2クラス相当規模
- 約30億（R 2時点）現在は物価高騰等によりさらに膨らんでいるとのこと

【自治体 B】

- 義務教育学校1棟 小・中9学年各2クラス相当規模
- 約54億 ⇒ 約70億 体育館・武道場も建設
- R 1年に計画、R 6・7年で建設、R 8年4月開校予定

【自治体 C】

- 学校統合再編 1棟 小・中9学年各1クラス相当規模
- 現在は基本計画・基本設計を立てる段階 概算未定
- R 7・8年に第1期工事を予定、R 10年4月開校予定